

バッグ型礼拝用敷物

世界のムスリムの暮らしー同時代を生きる

G0220

中国



1日5回の礼拝を守ろうとするムスリムの人びとは、旅行に出かける時に、携帯に便利な礼拝用敷物を持参する。自宅などには敷物が置いてあるし、モスクに行って礼拝する場合も必要ないが、旅先でも礼拝をするための準備である。これはバッグに敷物をたたんで持参する方式だが、ショルダーバッグの周囲のファスナーを開くとバッグの内側が長方形に広がり、それが敷物になるものもある。

今中先生からのひとこと

回族の経営する宗教用品店には、手の込んだ刺繍ししゅうの施されたものだけでなく、より簡便なビニール製のバッグ型敷物も売られています。そのようなビニール製のものには、敷物を取るバッグに、メッカの方向を示す磁石が付いているものもあります。

横山先生からのひとこと

私が中国雲南省で車をチャーターし調査に行った時、運転手は回族というムスリムの少数民族の方でした。休憩の際、運転手さんはショルダーバッグを肩からさげて、少し離れた岩かげに移動しました。バッグのファスナーを開くと、なんとそれが敷物になり礼拝が始まりました。運転手さんによれば、1日5回の礼拝時間は決まっているけれど、仕事の都合でその時間にできなければ、できる時にすればよい、ということでした。20代後半ぐらいの若い方でしたが、毎日、欠かさず礼拝をしている様子でした。